

恵那市の情報を分かりやすくお伝えします！

NO. 227

ENA CITY PUBLIC RELATIONS

広報えな

9/1

2014/平成26年

特集 『恵那暮らしサポートセンター』

お知らせ	8 ~ 12
掲示板	12 ~ 13
トピックス、1歳写真	14 ~ 16
恵那人	17
先人の宝、恵那写真館	18

今月の
ベストショット

2人乗り自転車で線路を走る

8月16日に、「明智駅『ちびっ子』大集合」が開催されました。明智駅前の線路では、親子らが重量26トンの車両と綱引き。みんなの力で車両はゆっくり前進し、歓声が上がりました。また軌道用自転車の乗車体験では、130mの距離を、親子などでペダルをこぎ、線路に展示してある蒸気機関車のそばを楽しそうに進んでいきました。

地域の担い手不足の解消が急務

人口減少問題を考える

市の将来人口は、平成22年度の国勢調査では53,718人でしたが、平成27年度には51,200人、平成37年度には45,100人程度に減少すると推測されています。(図1)

また全人口に占める65歳以上の人口割合は、平成27年度には32.8%、平成37年度には37.5%へと増加する見込みです。(図2)

高齢化率が50%を超えると推計された地域もあり、将来の地域の担い手不足による地域崩壊が懸念されています。

このような状況で、出生数を増やすだけでなく、市外からの移住・定住者を増やすことも重要な課題となっており、人口減少を食い止めることが急務です。

図1 国勢調査による人口の推移

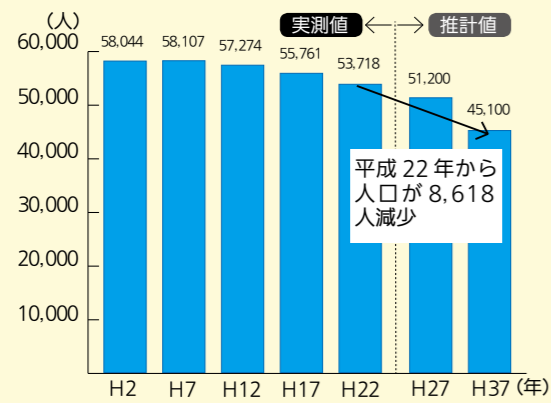
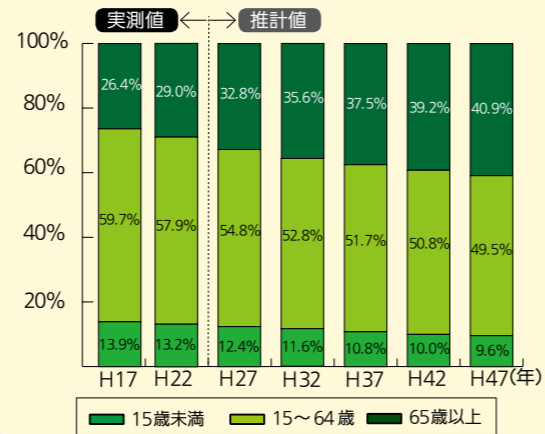


図2 年齢3区分別人口の推移と推計



市では、平成22から27年度の市総合計画後期基本計画で主要プロジェクトの一つとして人口減少対策を掲げ、「少子化対策」「健康・寿命延伸対策」「魅力づくり対策」「雇用対策」「移住・定住対策」の5本の柱を定めて取り組んでいます。

このうち移住・定住対策では、平

成22年4月に人口減少対策を専門に進める「ふるさと活力推進室」を設置し、取り組みを進めてきました。昨年4月には「恵那暮らしサポートセンター」を設置し、各地域と連携を強化。情報交換を行いながら移住や定住に関する疑問や不安に専門に答えられる体制を整えています。

人口減少対策の5本柱を定めて取り組み

柱1 少子化対策

子どもを生み育てやすい環境をつくり、子どもの減少を食い止めます

柱3 魅力づくり対策

まちの魅力を市内外に広め、恵那を愛する人を増やします

柱2 健康・寿命延伸対策

健康と長寿化の支援を行い、いつまでも元気で健康な方を増やします

柱4 雇用対策

雇用の確保と起業・就業の支援を行い、安定した生活を送れる人を増やします



柱5 移住・定住対策

魅力的な定住環境を確保し、恵那市に住み続ける人を増やします

特集 恵那暮らしサポートセンター



ゆったり快適なまちへ 移住や定住を支援



全国的に人口減少が進んでいる中、本市でも少子高齢化の問題は例外ではありません。これまで少子化対策や健康寿命延伸対策、定住促進対策などの取り組みを進めてきましたが、人口減少に歯止めはかかりません。

市では、移住・定住事業に専門的に取り組むため昨年度から「恵那暮らしサポートセンター」を設置しています。ここでは、その役割について説明します。

□問い合わせ ふるさと活力推進室 ☎ 26-2111 (内線 382)

恵那暮らしサポートセンターの役割

市内への移住希望者は年々増えつつあります。平成24年度まで市が中心となって実施してきた移住・定住支援について、一層専門的な分野での支援ができるよう、昨年度に「恵那暮らしサポートセンター」を開設しました。市役所に専門職員を1人常駐させ、各地域と連携を取りながら移住希望者の相談を受け付けています。

専門窓口を設置することで、相談などを円滑に受け付けることができ、利用者も安心して窓口を訪れることができます。

サポートセンターは、各地域で定住促進事業を実施している団体の集まりで運営協議会を設けて運営しています。協議会委員が情報を共有することで、移住相談者の各地域への案内や、移住までの手続きの支援などを円滑に行うことができます。サポートセンターが日頃行っているさまざまな活動を紹介します。

「えなもりLIFE」の発行を支援

NPO法人夕立山森林塾では、恵那の暮らしを発信するフリーペーパー「えなもりLIFE」を本年度から発行。市内に住む若い女性を中心に手作りしています。

サポートセンターでは、各種イベントなどの掲載情報の提供や、移住や定住を希望する方への配布協力を行っています。9月発行の秋号からは、恵那暮らしサポートセンターの連載も始まります。



体験・交流

恵那の暮らしを体験し、魅力を感じてもらうため、農業体験や観光施設などを巡るツアーの開催など、

情報発信

市内への移住や定住を希望する方へ積極的な情報提供を行うため、セミナーの開催や情報誌の発行を行い、情報発信機能を強化しています。

移住・定住セミナーを開催

名古屋を中心に東京、大阪など都市部に向けて市の魅力を宣伝し、移



① 移住者が自らの経験を基に恵那での暮らしの魅力の説明
 ② 布ぞうり作りコーナーで恵那の文化に触れる



多様な交流や体験機会を提供しています。

体験事業の実施

①平成23年度に「恵那を知る田舎体験」を2回開催し、22人が参加。農業体験や職業体験、田舎暮らし体験などを行い、暮らしを実感しました。

②平成24年度に「農業体験で婚活」を5回開催し、70人が参加。市内の農業経営者の婚活を兼ねて行われました。

③平成25年度に「恵那暮らし体験」を2回開催し、56人が参加。空き家の見学会や、みそ作りやそば打ち体験など地域の特産品作りを行いました。



①「恵那を知る田舎体験」で参加者が泥にまみれて田植えを楽しむ
 ②「農業体験で婚活」で、イモ掘りをしながら男女が会話を楽しむ
 ③「恵那暮らし体験」で参加者が市の特産品の細寒天作りなどを体験し、市の文化と生活に触れる

インタビュー

移住者×加藤輝代香さん(上矢作町)
「迅速な対応と詳しい情報で安心して移住しました」



田舎で暮らしたいと考えていたとき、名古屋で行われる岐阜県の移住セミナーを知り、参加しました。セミナーの後、すぐに現地の見学に連れて行ってもらいました。上矢作町での生活を実感できる施設見学と地元に住む市の職員の方から地元ならではの生活情報を教えてもらい、安心して移住を決断することができました。飼っている猫も一緒に住みたいという要望にも合う物件を探してくれた対応の良さも、移住決断への後押しとなりました。

恵那市は、食べ物も景観も季節の移り変わりをはっきりと感じられる自然豊かなまちだと思います。上矢作町には、保育園や学校と働く場所が小さい地域にまとまっていて、不便なく自然を感じる生活を満喫しています。

住や定住者を募るセミナーを開催しています。
 平成22から25年度までに、計26回のセミナーを開催し、287組が参加しました。説明会では、本市への移住者が直接市の魅力を説明し、来場者に生の声を届けました。
メルマガなどによる情報発信
 昨年度からは、メールマガジンの発行を始め、月2回程度、登録者に空き家情報や地域のイベント情報などを発信している他、市ウェブサイト (<http://www.city.ena.lg.jp>)



メルマガを読みたい方は、このQRコードを読み取って登録してね

P/teju)も随時更新し、移住や定住に役立つ最新情報を全国に発信していきます。

「101組限定、恵那めぐり」を実施



▲移住者が希望する観光施設などを案内

市内へ移住や定住を希望している人向けの「まち案内」です。できるだけお客さんの希望に合わせた内容で行うため、当日のスケジュールや地域などは毎回異なり、市内で暮らすために必要な学校や病院などの公共施設や、観光施設を主に案内しています。
 案内する際には、地域の世話人(恵那暮らしサポートセンター運営委員の皆さんなど)に紹介し、お客さんと地域の方が、直接話せる時間をつくるようにしています。
 ことし1月から開始し、8組が参加しました。

こんな支援もあります

定住奨励金、固定資産税減免

市外から転入した方が新築住宅を取得した場合、固定資産税を3年間減免し、奨励金25万円を支給。義務教育以下の子どもがいる場合は、子ども1人につき5万円を加算して支給します。

Uターン者支援

平成25年度以降に市の奨学資金を利用した方で、卒業後、市内に居住する方に、その年の返済額の2分の1以内の額を交付します。

えなの木で家づくり支援事業

地域材の柱を30本以上使い、市内建設業者が住宅を新築した場合、市内の方は固定資産税を3年間減免、転入者は20万円以内を交付します。

体験滞在施設の整備を支援

各地域で、市外からの訪問者の利用や地域のイベント、集会などに利用する滞在施設の整備を支援します。

市有地の分譲

定住促進事業の一環として、市有地を分譲し、市内外からの利用者に活用いただきます。

インタビュー

協力隊×佐藤暁彦さん(岩村町)
「恵那市の魅力をもっと発信して」



2年前に神奈川県から岩村町へ移住し、ふるさと活性化協力隊員として活動しています。

年々、岩村町への移住希望者が増えています。移住するための空き家物件がなかなか見つからず苦労していますが、できるだけ希望に添う物件が見つかるようサポートセンターと情報を共有して移住希望者を支援したいです。

岩村町の「ホットいわむら」では、町歩きプログラムや空き家を活用したワークショップを開催して、観光では触れることができない地元の生活感を感じてもらい、住みたいと思ってもらえる工夫をしています。

恵那市の魅力は地域全体の温かさだと思います。市内に住む方も、市外に住む恵那市出身の方も市の魅力をもっと友人などに紹介して、実際に魅力を体感してもらえば、もっと多くの人に来て、住みたいと思ってくれるまちだと思います。

【空き家バンク事業の実績】

項目	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	合計	
空き家物件の相談件数	25件	44件	27件	33件	129件	
空き家物件の登録件数	7件	38件	23件	22件	90件	
契約内容	件数	1件	13件	16件	15件	45件
	入居者の内訳	市内1件 市外0件	市内5件 市外8件	市内5件 市外11件	市内1件 市外14件	市内12件 市外33件

市内での住まい探しから、住めるようにするまでの支援策を用意しています。

空き家バンク事業

市内各地域の移住を支援する団体

暮らしの支援

受け入れ体制

移住後も安心して暮らせるよう、受け入れ体制を整備しています。

地域の定住促進活動を支援

各地域のまちづくり実行組織やNPO法人などが実施している定住促進事業を移住希望者に案内します。各種イベントなどへも参加し、地域と移住希望者との仲介を行います。

地域の世話人を発掘

三郷町や岩村町、山岡町、串原

業者が探した空き家や土地の情報を登録し、移住希望者などへ紹介しています。登録物件の利用受け付けや、物件の調査、案内、契約交渉に至るまでの支援をしています。

空き家改修補助事業

市外から転入する方が、空き家バンクの登録物件を活用し居住する場合、水回りや内装、基礎などの改修費の2分の1以内で100万円を上限に補助します。

◎補助実績 ▽平成23年度1169万8千円(2件) ▽平成24年度1130万9千8百円(4件) ▽平成25年度1228万4千円(5件)

市外から転入する方が、空き家バンクの登録物件を活用し居住する場合、水回りや内装、基礎などの改修費の2分の1以内で100万円を上限に補助します。

全市的な取り組みが必要



恵那暮らしサポートセンター
 運営協議会長×坪井弥栄子さん

平成25年4月に恵那暮らしサポートセンターが設立されて1年半になります。サポートセンターという組織ができたことで、住民が安心して移住者を迎えられることができるだけでなく、各地域と情報を共有できるようになりました。

本年度から、サポートセンター運営協議会に、子育て関係団体の女性が委員として参加しています。女性が参加することで活発な意見交換が行われるようになったと思います。

若い世代の方に移住してもらうには、子育てに関する情報は最も重要なことの一つです。住居や地域の特色だけでなく、子育て支援として育児や保育園、学校についても案内することができるようになり、サポートセ

インタビュー



移住者の力になります

どに在る移住者を世話する役割を持った「世話人」と連携して移住者を支援しています。

地域への外部人材の導入

市ふるさと活性化協力隊を導入し、現在までに9人の協力隊員が各地域で活動。地域おこし協力隊は1人で「恵那暮らしサポートセンター」で活動しています。移住希望者の物件探しなどのお手伝いをします。



▲三郷町の「あんじゃないの家」では田舎暮らしの魅力を発信

センターの活動が幅広く、内容が濃くなりました。移住希望者が必要とする情報を専門分野の住民が説明することで、移住希望者もより安心感を得られます。

現在、サポートセンター運営協議会には市内13地域全ての住民が参加しているわけではなくありません。全地域の住民が参加して情報を共有し、市全体の人口を増やす取り組みが必要です。名古屋まで電車で1時間で通勤ができる便利な場所に位置する市の魅力を住民がもっと認識し、安心して暮らせる、ゆったり快適なまちという印象を与えることが大切です。

サポートセンターでは、1人でも多くの住民の声を聞きながら、市の魅力を発信する取り組みを続けていきます。



①



②

①現在、活動している7人のふるさと活性化協力隊員 ②地域の特産品などを紹介する定住促進事業を支援 ③地域の「世話人」が移住者の暮らしを支援

大井宿 スタンプラリーを開催

中山道広重美術館の特別展観「木曾海道六拾九次之内」の会期中、計3カ所でスタンプを集めた方に美術館招待券など記念品をプレゼントします。恵那のまちを散策して、中山道大井宿の魅力を発見してみませんか。

□とき ▷スタンプラリー=9月28日(日)まで ▷記念品引き換え=11月3日(月)まで

□方法 中山道広重美術館や、ひし屋資料館、市観光物産館えなてらす(JR恵那駅横)、大井宿明治天皇行在所(岩井邸)のいずれか1カ所のスタンプと、スタンプラリー参加店舗シールが貼られた周辺店舗で買い物や食事をして合計3カ所のスタンプを集める

※中山道広重美術館のスタンプラリーシートをお気に入り登録するか、フェイスブックページに「いいね!」をして、来館時にスマートフォンや携帯電話画面を提示すれば、スタンプ1個としてカウントします

□スタンプラリー参加店舗 えなてらすなどで配布する地図に記載

□記念品引き換え場所 中山道広重美術館受付

☎ 中山道広重美術館 ☎ 20-0522

筑前琵琶演奏会

中山道ひし屋資料館の秋の風物詩となっている筑前琵琶演奏会。ことしは、琵琶奏者の田中旭泉さんと、東濃雅楽会の皆さんにより、「時空をこえ、受け継がれたしらべ」

をテーマに開催します。
□とき 10月14日(火)午後6時半開演(午後6時開場)
□ところ 中山道ひし屋資料館
□出演 田中旭泉(琵琶奏者)、東濃雅楽会の皆さん
□演目 「佛御前」(琵琶)、「管絃平調音取」(雅楽)、「管



▲琵琶を演奏する田中さん

ひし屋資料館で抹茶体験

市茶道連盟の協力で、抹茶の体験を開催します。この日は入館料が無料になります。ぜひ参加ください。

□とき 9月13日(土)午前10時〜午後3時(なくなり次第終了)
□ところ 中山道ひし屋資料館茶室

市の職員

来年4月1日採用予定の市職員を募集します。
□職種と人数 ▽土木技術職 12人(大学卒) ▽一般事務職(身体障がい者枠) 11名(大学卒) ▽保健師 2人 ▽歯科衛生士 11人 ▽保育士・幼稚園教諭 若干名 ▽看護師 若干名
□一次試験 ▽とき 10月19日(日) ▽ところ 市役所北会議棟
□申し込み方法 市役所備え

募集

付けの「職員採用試験申込書」に①住民票②卒業(見込み)証明書③成績証明書④資格・免許証の写し⑤写真⑥エントリーシートを添えて、郵送か持参して申し込み
※申請書類は、市のウェブサイト(<http://www.city.ena.jp>)からも取得できます
□締め切り 9月26日(金)午後5時15分(必着)
☎・☎ 〒5009-7292 (住所不詳 総務課職員係(内線306))

民俗文化財の保存と伝承に対する助成希望者

来年度の民俗文化財の保存や伝承活動に対する基金の助成希望者を募集します。
□対象 県内で来年4月から12月の間に実施される、次の民俗文化財保存や伝承活動に対する助成。①民俗文化財の道具や衣装などの修理や新調②民俗文化財を次世代に伝えるための記録などの活動③民俗文化財伝承のための伝習活動や後継者育成活動④諸行事などさまざまな場を通じての民俗文化財公開活動⑤その他の民俗文化財保存や伝承活



▲地域で伝承されている地歌舞伎

動
□申し込み方法 助成金交付申請書に必要事項を記入し、必要資料を添付して、農中信託銀行営業推進部に提出する
※申請書は農中信託銀行のウェブサイト(<http://www.nochub.co.jp>)から取得できます
□募集期間 10月1日(火)〜11月28日(金)(当日消印有効)
☎ 〒101-0047 東京都千代田区内神田1-1-12 農中信託銀行営業推進部「JA・岐阜県信連民俗文化財振興基金」係
☎ 農中信託銀行営業推進部 ☎ 03-5281-1340、県信用農業協同組合連合会総務部 ☎ 058-276-5111

案内

9月20日(土)は住民票などが交付できません

9月20日(土)は、庁舎建設に伴う電源切り替え工事のため、市役所が停電します。この日は、恵那文化センターでの住民票や印鑑登録証明書の交付が、終日できません。また市ウェブサイトも、午前8時から午後7時ごろまで閲覧できません。

市役所への電話や死亡届の手続きは通常通りできます。ご理解をお願いします。
☎ 財務課(内線359)

□料金 入館・抹茶は共に無料
☎ 文化スポーツ課 ☎ 43-2112(内線321)

くりきんとんに深蒸掛川茶はいかが

市観光物産館「えなてらす」では、市内和菓子屋10店舗のくりきんとん詰め合わせ「栗くらべ」を9月6日(土)から販売します。ことしは、掛川市の深蒸茶パックを全員の方に進呈します。

掛川市との縁は、旧岩村町と旧大須賀町が江戸時代に姻戚藩だったことに始まり、「ゆかりの郷」として交流し、現在では災害時応援協定を締結しています。今回は、特産品での「互産互消」交流が始まりました。
くりきんとんと一緒に深蒸掛川茶をお楽しみください。
□とき 9月6日(土)〜11月末ごろ
□料金 各1400円(「栗くらべ」黄金、「栗くらべ」紅葉)
☎ 観光交流室(内線530)、(二社)市観光協会 ☎ 25-4058

まきがね公園を県の防災拠点施設に

市では、自治体や各種団体などと災害時の応援協定の締結を進めています。このほど、大規模な災害に備え、市民の生命財産を守るため、新たに県と応援協定の締結をしました。
□協定名 「災害時における広域防災拠点の活用に関する協定」
□協定先 岐阜県
□内容 大規模災害時に、まきがね公園を県の防災拠点施設(活動拠点、物資集積拠点、広域医療搬送拠点)として活用することで、市をはじめ、県内外で発生した大規模災害に対応します。
□締結日 8月11日
☎ 防災情報課(内線317)



▲まきがね公園を活動拠点に利用

※ツイート = 携帯電話やパソコンなどで使用されている情報サービス「ツイッター」に投稿された情報

案内



日㈪ 恵那文化センター▽
10月3日(金) 山岡農村環境改善センター
□時間 午後7時～8時半
□場所 議会事務局(内線403)

市議会では「開かれた議会」を目指して、議会活動の状況を地域に届けて市民の皆さんに直接報告する「議会報告会」を開催します。
内容は「議会報告」として、議会の仕組みや最近の各常任委員会の報告を行い、「議会との意見交換」として、市民の皆さんの意見を直接聞かせていただくものです。皆さんの参加をお待ちしています。
□日にち・ところ ▽10月1日



▲議会活動の状況を市民に報告

ふれあいエコプラザ10月の環境講座

鍋帽子作り講座
古布を利用して鍋帽子を作り、光熱費を節約した鍋料理をしてみませんか。
□とき 10月2日(木)午前9時～正午
□定員 10人(先着順)
□料金 1000円(材料費)
□持ち物 裁縫道具(ミシン、EMほかして生ごみ堆肥作り講座)

EMぼかしを使って、生ごみを良質の堆肥にする処理方法を学ぶ講座です。EMぼかしのブロック処理や、畑に置く設置型コンポストの上手な利用法も説明します。
また新しい情報もありますので、既に受講された方の参加もお待ちしております。
□とき 10月4日(出)午前9時半～11時
□定員 20人(先着順)
□料金 1200円(材料費)

EMぼかしを使って、生ごみを良質の堆肥にする処理方法を学ぶ講座です。EMぼかしのブロック処理や、畑に置く設置型コンポストの上手な利用法も説明します。
また新しい情報もありますので、既に受講された方の参加もお待ちしております。
□とき 10月4日(出)午前9時半～11時
□定員 20人(先着順)
□料金 1200円(材料費)

特定健診を受けましたか？



国民健康保険では、特定健康診査(特定健診)を40歳から74歳までの方を対象に9月30日(火)まで行っています。なぜ健診が必要なのでしょう。私たちの体は、血圧や

血糖が高くても、重症化するまで自覚症状が出ません。しかし、重症化すると心筋梗塞や脳梗塞などの病気を引き起こし、日常生活にも影響が出てきてしまいます。特定健診は、普段の生活習慣の積み重ねで起きてくる病気を診ています。健診を受けることで、重症化する前の異常を発見することができ、ちょっとした生活改善で病気を防ぐことができます。

また、この特定健診には国で受診率の目標が定められており、本市の目標は「平成29年度の受診率を60%」とされています。この受診率の達成状況により、後期高齢者医療制度への支援金が増減され、結果として国民健康保険料に影響することもあります。当市の国民健康保険の受診率は、昨年度は約38%と目標の達成には至っていません。

自覚症状がない方も受診中の方も、1年に1度は健診を受けて自分の体をチェックしてください。

問 保険年金課(内線146)

※ぼかし2袋をプレゼント
共通
□ところ ふれあいエコプラザ
□定員 25名(15名15名)月・火曜日休館)

温故知新の染め型紙体験ワークショップ
城下町岩村に残された産業遺産「染め型紙」のデザインを活用した、染物体験のワークショップを開催します。
□とき 9月27日、10月25日

江戸時代後期から昭和初期まで岩村町本町で染物業を営んでいた「吉岡屋」。その蔵にあった染め型紙をはじめとする道具は、平成の時代に入り、捨てられる運命にありましたが、その歴史的、文化的な価値を理解する地元有志によって保管されています。染め型紙は近年、美術的にも注目されるようになり、画像としてデジタル保存し、さまざまな活用方法が検討されています。
□とき 9月27日、10月25日

中京学院大学看護学部公開講座
「高次脳機能障害患者の理解と看護及び介護について」
見えない障害を理解しよう「」をテーマに講演会を開催します。
□とき 9月20日(出)午後1時～2時半(受け付け開始は午後0時半)
□ところ セラトピア土岐
□講師 深川和利氏(名古屋総合リハビリテーションセンター 高次脳機能障害支援部長)
□料金 無料
□申し込み方法 ①住所②氏名③性別④電話番号を添えて、電話かファクス、電子メール、ウェブサイトから申し込み。
□定員 40名(先着順)
□申し込み方法 ①住所②氏名③性別④電話番号を添えて、電話かファクス、電子メール、ウェブサイトから申し込み。
□定員 40名(先着順)

道路にはみ出している樹木の管理を

私有地から道路上に張り出している枝や葉は、土地所有者に所有権があるため、市で勝手に切ることはできません。道路上空へのはみ出しや立ち枯れ木、折れ枝の道路への倒木、竹林などの繁茂で道路に飛び出している土地の所有者の方は、個人の管理と責任で、枝払いや伐採などの処置を取ってください。
皆さんが道路を安全に通行できるように、協力をお願いします。

地籍調査事業の登記が完了



▲倒木しそうな木は手入れを

次の地区の地籍調査が終了し、登記が完了しました。これで市内の地籍調査の登記完了面積は170.5平方キロとなり、完了率は37.7%となりました。
笠置地区
□調査範囲 笠置町河合字鶴り、小井戸、道木
□調査面積 1.41平方キロ
□調査後筆数 840筆
□登記完了日 7月28日
※境界杭・基準杭は大切に保全してください
問 地籍調査室 43-211(内線231)

特別展観 「木曾海道六拾九次之内」

9/28(日)まで



中山道広重美術館
《木曾街道六十九次之内》
「洗馬」大判錦絵
歌川広重
(田中コレクション)

中山道広重美術館が誇る溪斎英泉と歌川広重の「木曾海道六拾九次之内」(田中コレクション)を一堂に展覧する年に一度の機会です。

9月7日(日)は、市民の日(市民に限り観覧料が無料)。当日、受付係に「恵那市民です」と伝えてください。

問 中山道広重美術館 ☎ 20-0522

中山道広重美術館が誇る溪斎英泉と歌川広重の「木曾海道六拾九次之内」(田中コレクション)を一堂に展覧する年に一度の機会です。

庭木 道路にはみ出すことで歩道や狭い道路がますます狭くなり、通行の支障になります。
山林の樹木 道路にはみ出ていることで、車高の高い車が当たり大変危険です。枯れている木は倒木の危険があります。
竹やぶ 雨や雪が降ると道路にはみ出し、通行の支障になり危険です。
プランター 美しい花も、通行の邪魔になっては困ります。
※個人地からはみ出した樹木

案内

子育ての講演会

医療少年院で長年にわたり多くの子どもを心理の専門家として支援した、小栗正幸氏の講演会を開催します。さまざまな子どもたちの特性や、学校や家庭でできる支援の方法についての話です。子

育てに関わる大人として必聴です。皆さんぜひ、お越しください。

- とき 10月3日(金)午後7時
- ところ 恵那文化センター
- 演題 「子ども支援のキーワード」どんな大人にしたいですか」
- 講師 小栗正幸氏(宇都フロンティア大学臨床教授)
- 料金 無料
- ※予約は不要
- 問 市学校保健会事務局(学校教育課内) ☎ 43-2112 (内線356)

住宅・土地統計調査(速報集計) 結果を公表

昨年10月に行われた住宅・土地統計調査(5年に1回の速報集計が公表されました。全国的に総住宅数は、606.3万戸で前回より30.5万戸増加しました。空き家数は82.0万戸で前回より6.3万戸増加、空き家率は13.0%と0.4ポイント上昇し、過去最高となりました。高齢者などに配慮した設備がある住宅は、26.55万戸

となり、半数を超えています。速報集計結果は、順次公表されます。速報集計に関する詳細は、総務省統計局ウェブサイトを「ご覧ください」。(http://www.stat.go.jp/data/jyuta ku/2013/tyousake.htm)

問 総合政策課(内線332)

県立多治見病院の緩和ケア市民公開講座

「患者に寄り添う緩和ケア」をテーマに緩和ケアの公開講座を無料で開催します。

- とき 10月11日(土)午後2時～4時(開場は午後1時)
- ところ 多治見市文化会館
- 講師 柏木哲夫氏(淀川キリスト教病院理事長)
- 申し込み方法 ①住所②氏名③電話番号④参加人数を電話かファクスで申し込む
- ※公共交通機関でお越しください
- 締め切り 9月30日(火)
- 問 県立多治見病院地域医療連携センター ☎ 0572-22-5311、☎ 0572-2-25-1246

みんなの掲示板

『みんなの掲示板』は、皆さんが主催するイベントや各種募集などを市内に周知するためのコーナーです。(営利目的・宗教・政治に関する掲載はできません) □掲載の申し込み・問い合わせ 総合政策課 広報広聴係 ☎ 26-2111 (内線319)

第4回いわむら一斎塾特別講座を開催

第4回いわむら一斎塾特

別公開講座を開催します。下田歌子と同じ時代に米沢藩(山形県)に生まれ育った祖母を持ち、武家女性の生き方などを研究している石川真理子さんを講師に迎えます。「日本婦人の美德」現在も生きる下田歌子の教え」についての話を聞きます。

秋のふれあいウォーキングを開催 農村景観日本一の地、岩村町富田地区でウォーキングを開催します。ゴールでは、特産物の直売や岩村城女太鼓の演奏、特産物が当たるお楽しみ抽選会があります。ぜひ誘い合って参加ください。



▲日本一の農村景観を見て歩く

- 問 受け付け後案内地図を受け取り随時出発
- ところ スタートとゴールはふるさと富田会館
- コース △Aコース11.4km △Bコース11.5km △Cコース11.3km
- ※ゴールの制限時間は午後0時15分
- 料金 500円(中学生以下は300円)
- 申し込み方法 当日受け付けです。団体での申し込みは事前に相談ください。
- その他 弁当や飲み物は各自持参してください。警報が発令された場合は中止します。
- 問 茅の宿とみだ ☎ 43-4021
- 問 まち並みふれあいの館(市観光協会岩村支部) ☎ 43-4622

秋の原生林ツアーの参加者を募集

秋の原生林を歩く自然体験プログラムの参加者を募集します。巨木を間近に感じながら、自然の神秘を楽しんでみませんか。

- とき △原生林トレッキングツアー11月9日、10月5日、11月2日、11月9日(毎回日曜日) △大船山・松並木ツアー11月12日(日)
- ※希望日を選んで申し込みください
- 定員 各20人(先着順)
- 料金 3000円(入山)



▲木々や池を見ながら歩き秋を感じる

料、保険料、ガイド料を含む) □申し込み方法 ①氏名②住所③連絡先④参加希望日一を電話かファクス、電子メールで連絡して申し込み

時(全8回) □対象 文字入力ができる、筆ぐるめか筆まめ、筆王が入っているパソコンを持参できる方

パソコン10月期講座の受講生を募集

【はじめてのパソコン講座】 □とき 10月7日(火)、16日(木)、21日(火)、28日(火)午前9時半～11時半(全4回) □内容 ウィンドウズ7か8、8.1を使い、文字入力やマウスとキーボードの使い方、インターネットの見方など、パソコンの基本操作を学びます。

□料金 700円(別途テキスト代1300円程度が必要) □申し込み方法 筆ぐるめと筆まめ、筆王を使った年賀状講座

□とき 10月2日～12月4日(11月6日と27日を除く毎週木曜日) 午後1時～3時

視覚障がい者児のパソコン教室の受講生を募集

ンクラブ(BPC)は、これからパソコンを活用したい方やもう少し研究してみたいという方にお勧めのパソコン教室です。初心者には個別指導も行います。

一人でも多くの方が参加できるように、受講者をサポートするボランティアも募集しています。見学も可能ですので、気軽に申し込みください。

□料金 無料 ※事前に申し込みが必要で

□その他 両日とも正午～午後2時に交流会があります。出前ランチ(実費)を希望の方は事前に申し込みください。

各種ボランティア講習会の受講生を募集

【障がい者パソコンサポートボランティア養成講習会】 □とき 10月5日(日)午前10時半～午後3時半

□料金 無料 ※事前に申し込みが必要で

〒11282

若い世代がまちづくりを語る

NEWS&
7月26日
TOPICS



恵那文化センターで第1回まちづくり市民会議が開催されました。これは、市の次の10年を担う20から40代の市民の意見を総合計画に反映させるため、意見を聞く会議です。出席した62人は、市の良いところや悪いところなどの意見を熱心に出し合いました。

採れた野菜でピザ作り

NEWS&
7月25日
TOPICS



中野方保育園の園児36人がピザ作り挑戦しました。生地を棒でのばした後は、保育園で園児たちが育てて収穫したジャガ芋やピーマン、トマトなどの具を乗せる作業でした。園児たちは、具をこぼさないように注意しながら、生地に1品ずつ乗せていました。

図書館の人の仕事って何

NEWS&
8月1日
TOPICS



市中央図書館で5回にわたり子ども司書講座が開かれました。これは、小学校5、6年生を対象に、図書館の仕事や本について学ぶ講座です。子どもたちは、図書館の司書から、本の整理や展示コーナーの準備、読み聞かせなどを体験し、図書館の仕事への理解を深めました。

小中学生が水泳技術を学ぶ

NEWS&
7月30日
TOPICS



山岡B&G海洋センターで、県トップアスリート出前事業水泳教室が行われました。講師は、岐阜国体の100mバタフライで優勝した原翔太選手。参加した小中学生は、水に浮きやすく抵抗を減らせる泳ぎ方や呼吸法などを習い、一生懸命に練習していました。

ひとまち
恵那の今を
お届けします



情報BOX
えな

緑日と花火で岩村城の再建を願う

NEWS&
8月13日
TOPICS



岩村グラウンドで「緑日・ふるさと創生花火」が大に開催されました。緑日では、金魚すくいや風船釣りなど、屋台を楽しむ来場者でにぎわいました。終盤には、盆踊りの他、生バンドの演奏に合わせた鳴子踊りが披露されました。最後を飾ったのは、ふるさと創生花火。来場者は、歓声を上げて夏の風物詩を満喫していました。

NEWS&TOPICS

HAPPY BIRTHDAY

HUMAN WATCH

ニュースと話題

1歳になりました

輝く恵那人

募集中

10月に1歳の誕生日を迎えるお子さんの写真を募集します。写真(なるべく1人で胸から上で顔全体が写っているもの)の裏に①住所②氏名(ふりがな)③生年月日④性別⑤電話番号⑥両親の氏名⑦28字以内のコメント⑧ケーブルテレビ放映の可否を添えて、9月12日(金)までに申し込んでください。

申し込み多数の場合は先着順に掲載します。

□申し込み・問い合わせ
〒509-7292(住所不要)
総合政策課広報聴係
☎26-2111(内線319)

生まれてくれてありがとう。元気に育つよ。

大井町
河合 りのちゃん
父 賢治さん 母 あやのさん

1歳おめでとう。毎日癒しであり、姉弟仲良くね♡

大井町
小本 陸人くん
父 有祐さん 母 唯さん

祝1歳♡虹心の笑顔にいつも癒されたい♡ありがとう♡

中野方町
井戸 虹心ちゃん
父 政彦さん 母 千佳さん

祝1歳☆海くんはわが家の宝物だよ♡これから成長が楽しみ

大井町
藤井 海翔くん
父 晴久さん 母 幸恵さん

この笑顔永遠に!!

大井町
河野 恭大くん
父 悠也さん 母 亜紀子さん

祝1歳♡この笑顔にキユン♡いつも元気な凜空が大好きだよ♡

大井町
貝川 凜空くん
父 慎平さん 母 朋加さん

生まれてくれてありがとう。宝んな幸せだよ♡

長島町
市川 りあちゃん
父 泰孝さん 母 生久代さん

1歳おめでとう。元気いっぱい、優しい男の子に育って♡

大井町
永井 斗麻くん
父 文晴さん 母 真弓さん

毎日ステキな笑顔ありがとう♡

中野方町
奥村 陽咲ちゃん
父 哲也さん 母 菊菜さん

1歳おめでとう。元気いっぱい。奏太君、楽しい毎日ありがとう♡

長島町
磯村 奏太くん
父 達雄さん 母 千里さん

1歳おめでとう。あなたの笑顔がパパママの一番の幸せです♡

長島町
可知 蒼真くん
父 幸生さん 母 美佳さん

1歳おめでとう。これから元気に食べて元気に育ってね!

長島町
松井 太志くん
父 智央さん 母 友希さん

祝1歳♡たくさんの幸せをありがと♡元気に大きくなあれ☆

長島町
市川 瑠夏ちゃん
父 真也さん 母 真代さん

1歳おめでとう。来生まれてきてくれてありがとう♡

長島町
各務 来ちゃん
父 尚さん 母 真知子さん

お誕生日おめでとう!



1歳になりました
HAPPY BIRTHDAY
わが家のBABY 9月生まれ

「未来を担う子どもたちに、エネルギーへの関心をもっと持ってもらいたい」と話すのは、小水力発電装置を使い小学校などで環境教育の授業を行っている角野雅哉さん。

市内の部品加工メーカーで働く角野さんは、父親である社長や小水力発電の専門家、学生時代の恩師らの技術指導を受け小水力発電装置を開発した。農業用水路など身近な場所に設置することで発電でき、付属の照明器具が点灯するという仕組みで、防犯灯として通路などを利用してされている。組み立てから取り付けまでを簡単に行えるため、市内の小学校などで小水力発電体験授業の教材としても活用している。「身近にある小さな水力でも電気を生み出せることを伝えるのが狙い」と言う。

装置の羽根部分は、使用済みペットボトルのキャップを再利用して作られている。子どもたちは、自分たちが集めたキャップが環境に役立っていることを実感でき、資源を再利用することの大切さに気付く。また机の上で学ぶ知識だけでなく、実際

学ぼう伝えよう
輝く
恵那人
119



小水力発電で地産地消
小学校で小水力発電の仕組みを教える

□プロフィール
高校、大学で機械工学を学ぶ。平成25年に小水力発電装置に関する論文を発表し、日本設計工学会で優秀発表賞を受賞。



恵那で輝いている旬な人を紹介します

長島町中野
角野 雅哉 さん 27歳

「子どもたちに教えるのは専門外なので、授業はいつも試行錯誤」と角野さんは苦笑い。しかし、「子どもたちの楽しそうな顔を見ると、もっと分かりやすく伝えたいという意欲が湧く」と向上心を見せる。

「身近にある水力を無駄にせず生活に利用することは、エネルギーの地産地消になる。いつかは世界中の子どもたちに小水力発電を知ってもらおうのが夢」と若き技術者は語った。



▲小学生と一緒に小水力発電を体験

園児がアユの塩焼きに舌鼓

NEWS&
8月1日
TOPICS



上矢作町の澄ヶ瀬薬がオープンし、上矢作保育園と串原保育園の園児49人が招待されました。園児たちは、矢作川で泳いだり、魚を追いかけたりして川遊びを満喫。その後、炭火で焼いたアユが振る舞われ、園児たちは「おいしい」と舌鼓を打っていました。

真夏の3日間を歩き通す

NEWS&
8月1日
TOPICS



恵那スケート場から明智かえでホールまでの約50kmを2泊3日で歩く「第8回恵那てくてくの旅」が開催されました。参加した小学生ら約100人は、真夏の日差しが照りつける中、仲間と励まし合いながら歩き、全員がゴール。身も心も成長する催しになりました。

個性あるのれんに仕上げる

NEWS&
8月5日
TOPICS



「のれんワークショップ」が中コミセンで開催されました。コースは、草木染の藍染やあかね染、化学染料染、染なしの四つ。2日間の開催で、約60人が参加しました。子どもたちは、のれんを染めた後に、専用の絵の具などで絵を描くなどして、個性あるのれんを作っていました。

日本大正村が30周年を祝う

NEWS&
8月2日
TOPICS



明智かえでホールで、立村30周年を迎えた日本大正村を記念し、式典とイベントが開催されました。第1部では、功績者を表彰し、司葉子村長が立村30周年記念を宣言。第2部では、市長や女優の竹下景子さんから5人が大正村の魅力などについて意見を交わしました。

飯地高原の夜がにぎやかに

NEWS&
8月14日
TOPICS



飯地コミセンで第33回飯地高原納涼夏まつりが開催されました。会場には、食べ物や金魚すくいの屋台が並び、家族連れなどでにぎわいました。盆踊りでは、武士や外国風の衣装などをまとった人たちが踊りに参加。華やかさが加わり、汗を流しながら踊りを楽しみました。

伝承の型紙使い作品作り

NEWS&
8月6日
TOPICS



「染め型紙体験教室」が岩村の上町まちなか交流館で開かれました。教室では、昔から伝わる型紙を模して自分用の型紙を作ったり、思い思いに組み合わせて白い布地に色を染め付けたりしました。参加者は、細かい作業に集中し、自分だけの1枚の作品を作り上げました。

※コミセン=コミュニティセンターの略

【File No. 16 | 大船神社本殿 おおぶねじんじゃほんでん】



壮麗な彫刻の施された本殿

大船神社の歴史は古く、「大船神社由緒書」によると769(神護慶雲3)年に東大寺の僧良弁が、この地に庵を結んだとされている。標高約1,000mにある神社である。

910(延喜10)年に大船寺とし、その後、戦で焼失したが、江戸時代の初めに修験僧の明実により再建され、1685(貞享2)年に完成したとされる。今の本殿は1856(安政3)年に再建されたものである。

この本殿の特徴は、壮麗な立川流による彫刻。立川流は、建築彫刻で全国的にも有名で、長野県の諏訪大社上社社殿(国重要文化財)も手掛けている。

本殿は、風雨から保護するための覆屋の中に鎮座しており、天空に建つ神社として今も往時の様子をよく残し、静かな大船山で市民の暮らしを見守っている。

ひとロメモ

本殿は、ことしの6月27日に市指定文化財となった。また彫刻は、昭和37年に県重要文化財に指定されている。獅子や象、雲や波など躍動感ある彫刻がデザインされている。本殿は覆屋の中にあり、格子戸の外から見学することができる。

恵那写真館

私の大好きな1枚
(撮影地：岩村町飯羽間)

岩村町 中田ゆう子さん



のどかな田園風景とはるか遠くの霧の上に三つ盛りの山、三森山があり、自然や人手、歴史がたくさん詰まった景観です。



農村のメインストリート

皆さんの
大好きな風景を
気軽に応募くだ
さい!

□応募方法 写真か画像データと①住所②氏名(ふりがな)③電話番号④題名⑤写真の場所(町名)⑥お薦めの理由(70字以内)一を記入した用紙を持参するか郵送、電子メールで総合政策課広報広聴係へ提出する。

次号は
9月15日号
発行日は
9月12日(金)です



広報えな No.227

2014年(平成26年)
9月1日発行

発行 恵那市役所/編集 総合政策課広報広聴係
〒509-7292 岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1
☎(0573)26-2111/☎25-6150/(IP電話)050-5808-9521
<http://www.city.ena.lg.jp/> ☒ info@city.ena.lg.jp

『広報えな』9月1日号、
1部当たりの印刷経費は
約10.0円(税込み)です。



◀市ウェブサイト
(閲覧用QRコード)
あなたの知りたい情
報を分かりやすく提
供しています。



◀市メール配信サービス
(登録用QRコード)

音声告知放送の文字版ページ▶
(閲覧用QRコード)



『広報えな』は環境に優しい再生紙を使用しています。またインキは石油系ではなく、地球に優しい植物油を使用したもので印刷しています。

